

Pick up! information



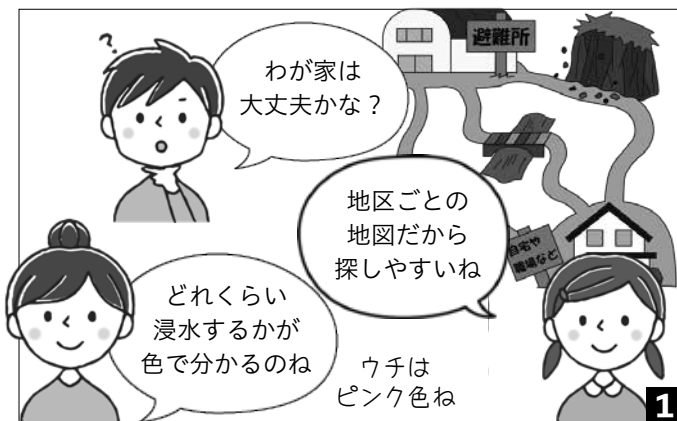
自分の命を自分で守るために 水害ハザードマップを配布します

洪水・土砂災害ハザードマップを使ってみましょう



Q 洪水・土砂災害
ハザードマップって何？

A 水害による被害を予測し、その被害の範囲などを地図に記したものです。被害の範囲のほか、自宅の浸水の深さ（浸水深）や自分が取べき行動などを知ることができます。



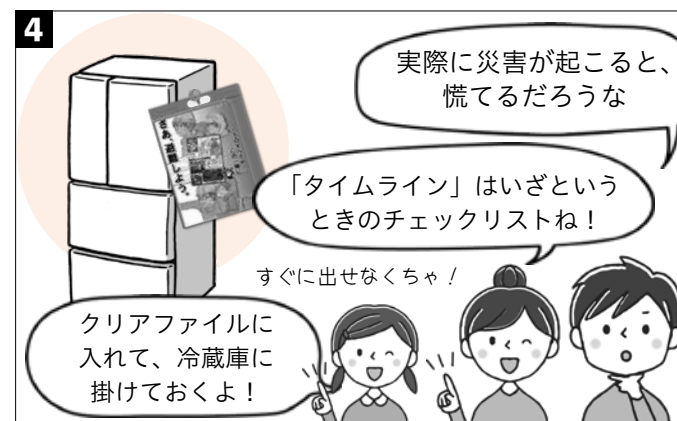
市内を17の地区に分け、地区ごとの地図を掲載しています。おおむね100年に一度起こる計画規模の洪水と、おおむね1000年に一度起こる最大規模の洪水を想定しています。



まずは、自宅などが浸水区域や土砂災害区域内にあるかを確認しましょう。小学校などの指定避難所のほか、地下道など、浸水時に危険な場所を掲載しています。



浸水の深さ（浸水深）を確認したら、どのように避難すべきかなど、取るべき避難行動を、チェックシートで確認します。



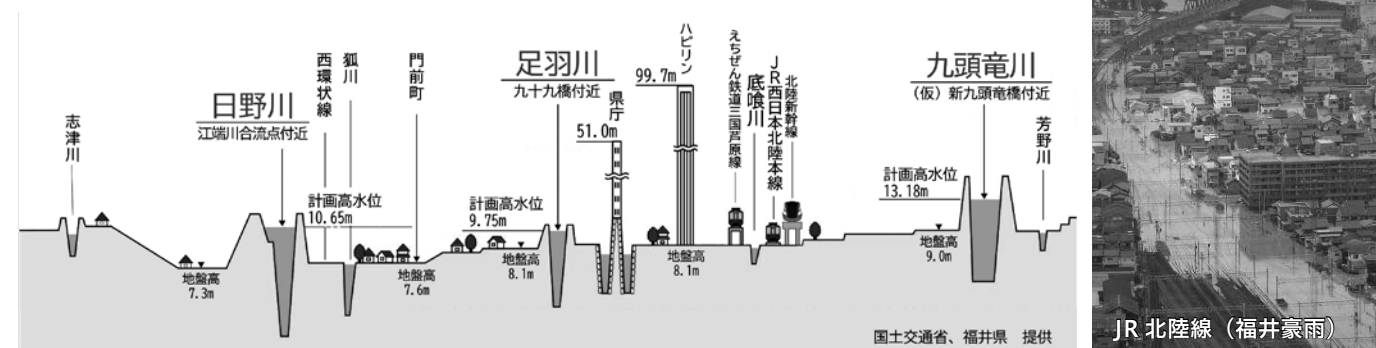
災害発生時から逆算し、警戒レベルに応じて、「いつ」、「何をすべきか」を時系列で記録しておくのが「タイムライン」です。マップに付いているシートを使って、自分だけの「マイ・タイムライン」を作りましょう。

洪水や土砂災害など、大雨による被害について記載した「洪水・土砂災害ハザードマップ」を改定しました。マップは自治会を通して、各世帯に配布します。ホームページからダウンロードすることもできます。



福井市は洪水や土砂災害を受けやすい地形です

福井市の市街地は、九頭竜川、日野川、足羽川などの大きな河川の水位よりも土地が低いため、ひとたび堤防が決壊すると大きな被害が出てしまいます。また、市の東西には広大な山間部があり、中心市街地には足羽三山があります。近くを大きな河川が流れている場所も多く、土砂災害も発生しやすい地形です。



自分や家族の命を守るためには、どう行動すればよいのか、ハザードマップを使って、家族や地域で話し合ってください。

◆福井市のAI自動応答サービスでも質問できます

市LINE公式アカウントと市ホームページのAI自動応答サービスに、「防災・災害」を追加しました。24時間いつでもお答えします。

問合せ【マップに関すること】河川課 ☎ 20・5492 FAX 20・5745
【避難に関すること】危機管理課 ☎ 20・5234 FAX 20・5235



一部地域には2種類のハザードマップを配布します

局地的な大雨に備えるための「^{ないすい}下水道内水ハザードマップ」も改定しました。対象区域の人には、洪水・土砂災害ハザードマップと一緒に配布していますので、ご確認ください。



「**下水道内水ハザードマップ**」とは
自宅などの浸水リスクをあらかじめ確認し、日頃から浸水に備えるための地図です。



下水道の内水とは
下水道から河川に雨水などを排水できずに、発生する浸水のことです。

洪水・土砂災害ハザードマップとの違い

項目	下水道内水による被害	洪水・土砂災害
対象	下水道事業による雨水対策を行っている区域	市全域
雨の降り方	局地的大雨（ゲリラ豪雨）	1～2日程度続く大雨
浸水の要因	下水道の水が流れなくなること	河川の堤防の決壊
浸水の深さ	浅い	深い

内水と洪水の違い



問合せ 下水管路課 雨水対策室 ☎ 20・5651 FAX 20・5446